

2006年3月14日

 会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治
 コード番号 8233

2006年2月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

(株)高島屋計	分社4店含む実質
+0.5	+0.8

2月度は広域事業が伸び悩む一方、百貨店事業が順調に売上を伸ばした結果、分社4店含む実質では+0.8%となった。前年実績のクリアは昨年9月度以降、6ヵ月連続となった。

分社4店とは、関西地区の**岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋**、関東地区の**高崎高島屋**です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+1.7	+2.0

クリアランスールや春物商材等の積極的な営業展開の奏効、バレンタイン-関連商品の好調な売上等により、18店計では+2.0%で、5ヵ月連続の前年実績クリアとなった。地区別では、関西地区が+1.5%、関東地区が+2.3%となった。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大坂店(大坂店単店)	京都店(京都店単店)	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	0.1(+0.1)	1.1(0.5)	+12.7	0.5	+21.4	1.1
入店客数	7.0	1.9	+5.8	+3.8	+11.3	2.3

大坂店の売上高には**和歌山店・堺店**の売上高を、京都店の売上高には**洛西店**の売上高をそれぞれ含みます。

大坂店・京都店の入店客数はそれぞれ**単店**になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	0.5	+6.0	2.7	+10.1	+4.3	1.4	3.6	+0.7
入店客数	3.9	0.6	8.7	+0.3	+0.5	+0.0	4.7	3.7

横浜店の売上高には**港南台店**の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は**単店**になります。

関西地区では、大坂店(単店)・泉北店が2ヵ月ぶり、岐阜店が5ヵ月連続で、前年実績をクリアした。大坂店・京都店では宝飾品や婦人服、婦人雑貨、食料品等が前年実績を上回ったものの、リビング、特選衣料雑貨等が伸び悩んだ。泉北店は臨時催や紳士・婦人雑貨、食料品等が好調で前年実績を大きくクリア。岐阜店は全館リニューアルで強化した婦人服、婦人雑貨、食料品等が好調を持続した。関東地区では、9店中5店が前年実績を上回った。東京店は特選衣料雑貨や婦人服・雑貨等が前年実績を上回ったものの、子供服・趣味雑貨、美術等が前年を下回った。横浜店は婦人服や特選衣料雑貨等が好調に推移し、10ヵ月連続の前年クリア。新宿店は宝飾品が前年実績を2桁上回ったものの、特選衣料雑貨等のファッション商材が低迷。玉川店、立川店は婦人雑貨、宝飾品、リビングが前年から2桁売上を伸ばした。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域事業計
売上高	7.6	16.3	11.0

法人事業は、企業向け販促品等で新規物件の計上があったものの、前年の大口計上の反動減もあり、前年実績を割り込んだ。通販事業はファッション商材は好調に推移したが、カタログ発行日変更の影響が大きく、2桁減となった。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	(株)高島屋計	分社含む実質
紳士服・洋品	5.9	5.7
婦人服・洋品	+3.2	+3.2
子供服・洋品	+2.9	+2.6
その他衣料品	+9.3	+9.8
衣料品計	+1.7	+1.8

	(株)高島屋計	分社含む実質
身のまわり品	0.9	0.7
家具	9.2	9.3
家電	+3.9	+2.9
その他家庭用品	+1.0	+0.8
家庭用品計	1.4	1.7

	(株)高島屋計	分社含む実質
食料品	+2.8	+3.7
食堂・喫茶	+1.1	+1.8
雑貨	3.8	3.5
サービス	+9.1	+7.8
その他	+10.1	+9.6
合計	+0.5	+0.8

当社分類による百貨店事業の商品別概況

上旬はクリアランスールを中心に冬物衣料や雑貨が動き、中旬以降には気温の上昇に合わせて春物商材が順調に動いた。紳士服(前年対比 1.7%)や紳士雑貨(同 0.3%)は前年実績を下回ったものの、スーツやネクタイ、靴、鞆等のビジネス関連の商品に動きがあった。婦人服(同+5.9%)ではジャケットやスカート、スプリングコート、婦人雑貨(同+4.6%)ではハンドバッグやアクセサリ-の新作商品、オープンハウス等の春物商材が好調であった。また、バレンタイン商戦が好調に推移した食料品(同+5.1%)も前年実績をクリア。その他、特選衣料雑貨(同+9.9%)、子供服・趣味雑貨(同+2.1%)、呉服(同+1.4%)等が前年実績を上回った。